

京都府立洛西高等学校 英語科 CAN-DO リスト

	Listening	Reading	Speaking		Writing
			Interaction	Production	
高校1年	1 自分自身や家族に関する簡単な質問を聞き取ることができる段階である。授業で何度も使う表現や語句を聴き分けることができる。	日常的な話題について、多くの支援があれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を理解できる。	ごく簡単なあいさつを交わす、謝罪をする、礼を言うなど自分の気持ちを伝えることができる。また、話を聞こうと耳を傾け、援助しようとしてくれる相手であれば、簡単な質問をしたり、相手の質問に答えたりすることができる段階である。Really?などの簡単な語句を用いて相手の発話に反応することも可能である。	事前に準備を行えば、自分の趣味や興味などについて30秒～1分程度述べることができる。ただし、形式は主語と動詞が含まれているものばかりではなく、短い語句や単語を並べる方法をとる場合もある。	自分の趣味や興味などについて3文程度の英文を書くことができる。ただし、形式は主語と動詞が含まれているものばかりではなく、短い語句や単語を並べる方法をとることもある。
	2 日本人教師によりゆっくりと繰り返し話されれば指示や説明は理解できる段階である。英検3級程度のグラフや絵の描写に関する情報は複数回聞けば聞き取ることができる。よく使われる表現であれば、単語が繋がって発音されてもその意味を理解することができる。	身近な話題について書かれたテキストから特定の情報を取り出すことができる。教科書の文を音読する際、意味のまとまりを意識し始める段階である。	身近で予測可能なまたは目的が明確な情報交換が可能な段階である。ネイティブスピーカーと日常的な話題について1分間程度対話できる。授業で学んだ内容について、ペアやグループで話し合うことができる。	事前に準備を行えば、自分の趣味や興味などについて1分～1分30秒程度述べたり、誰か身近な人物を簡潔に紹介することができる。また、自分の伝えたいことを、学習した文法事項を使い5文程度で表現することができる。	学習したテーマ及び自分の興味のあることについて、簡単な感想や意見を書くことができる。多くのlocal errorを含みながらも、既習の語を使い簡単な5文程度の短文を書くことができる。
高校2年	3 ゆっくりと話されたり、パラフレーズされれば指示や説明はほぼ理解できる段階である。簡単なアナウンスなどは複数回聞けば必要な情報を聞き取ることができる。英検3級程度のグラフや絵の描写に関する情報は1回聞けば聞き取ることができる。ただし、長時間、援助なく聞き続けるには限界がある。	身近な話題について書かれたテキストから特定の情報を取り出すことができる。時間をかければ、要点をメモ程度の短文で書いて表現することができる。言語形式にはあまり意識が働いていない段階である。イントーネーション・アクセントに気をつけながら、教科書の文を音読することができる。	身近で予測可能なまたは目的が明確な情報交換が可能な段階である。ネイティブスピーカーと日常的な話題について1～2分間程度(ネイティブスピーカーの配慮や援助があれば)会話を継続することが可能である。授業で学んだ内容について自分の経験や意見を交えながらペアやグループで話すことができる。	事前に準備を行えば、身近な話題や学習した内容について、感想や意見を交えながら2分間程度話すことができる。過去の出来事や個人的な経験について相手に伝わるように述べることができる。	学習したテーマ及び興味のあることについて、テキストを読み、簡単な感想や意見を理由を述べながら記述することができる。自分と直接関係する内容であれば、エッセイを情報を羅列しながら書くことができる。
	4 簡単な指示や説明であればある程度のスピードがあっても理解し始める段階である。簡単なアナウンスなどはほぼ1回に必要な情報を聞き取ることができる。身近な話題や学習したテーマに関する話題に関しては、複数回聞けば理解することが可能となってくる段階である。	身近な話題について書かれたテキストから特定の情報を取り出すことができる。また、少し時間をかければ要点をテキストで使われた表現を用いながら書いてまとめることができるが、口頭による内容説明や表現を変えながらの要約には限界がある。	易しい話題であれば、ネイティブスピーカーの発話に対して簡単な形式を用いて1分間程度やり取りすることができる。言葉を探すための休止は頻繁に見られるが、相槌や繰り返し等の言葉を使って会話を継続させようとする態度が見られる。	身近な話題や学習した内容について、感想や意見を交えながらその場で1～2分間程度話すことができる。過去の出来事や個人的な経験について絵や写真、身振りなどを用いながら効果的に表現することができる。イントーネーション・アクセントに気をつけながら、教科書の文を暗唱することができる。	興味のある分野について、テキストを読み、その感想や意見を理由や説明文などを加えて記述することができる。身近な話題や、自分と直接関係する内容であれば、具体例とともにエッセイを30分程度で書くことができる。

	Listening	Reading	Speaking		Writing
			Interaction	Production	
高校3年	5 身近な話題や学習したテーマに関する話題であれば1回で70%程度聞き取ることができる段階である。ごく日常的な場面で交わされる会話において、相手から必要な情報を得ることができる。簡単な道案内を聞いて理解することや、簡単な内容であれば、電話での応答が可能である。	日常的な話題についてのテキストは、時間をかければ、形式スキーマを使ってメインアイデアと詳細情報を分けて概要を把握することができる。それを書いてまとめることができる。時事問題については、既習のものであれば書いてまとめたり口頭で要約できるが、抽象的な語彙を含む英文は明確な概念化が行えず、日本語による補足説明が必要である。	易しい話題であれば、相手の発話に対して簡単な形式を用いて自分の意見を述べながら1～2分間程度やり取りすることができる。言葉を探すための休止は時々見られるが、互いの配慮があれば会話を継続することが可能である。ただし、会話の内容を第三者に英語で紹介する力は不十分な段階である。	身近なまたは日常的な話題について伝えたい情報をその場で簡潔に述べることができる。また、学習したテーマ且つ十分練習したものであれば2分30秒間程度のプレゼンテーションができる。その際、絵や写真、身振り等を用いながら効果的に表現することができる。イントーネーション・アクセントに気をつけながら教科書の文を暗唱できる。	本のサマリーを要点をまとめながら20分程度で書くことができる。また、パラグラフ構成を意識して、学習した英文に関するエッセイを20分程度で書くことができる。ただし、メインアイデアとそれ以外の情報が混在し、読み手は理解するのに少し努力を要する。global errorは減少しているが、100語中2～3文程度理解不可能なものが含まれている。
	6 身近な話題や学習したテーマに関する話題であれば1回でほぼ正確に理解する。ごく日常的な場面で交わされる会話において、相手から必要な情報を得ることは勿論のこと、相手の意図や意見もある程度理解することができる。ラジオやテレビなどで天気予報を聞いて、必要な情報を得ることが可能である。	日常的な話題についてのテキストは、日本語の語順に置き換えながら理解する度合いが少し減り、比較的即時に概要を把握することができる。理解したことを簡潔に書いて要約したり、口頭で伝えることができるが抽象的な語彙を含む英文は明確な概念化が行えず、教師による英語での補足説明が必要である。	社会問題、国際問題であっても簡単な形式を使いながら、3分間程度やり取りすることができる。準備すれば比較的詳細な内容についての意見交換も4分程度行うことができる。言葉を探すための休止は時々見られるが、会話の崩壊は起こらず会話を継続することが可能である。会話の内容を第三者に英語で紹介することも、時間をかければある程度可能である。	身近なまたは日常的な話題について、自分の考えを即興で順序立てて2分程度で述べるることができる。興味がある話題や、経験談等ではSHOW&TELLを行うことができる。イントーネーション・アクセントに気をつけながら教科書の文を暗唱できる。イラストや図を見て、十分な情報を論理的に説明することができる。	メインアイデアとその他の情報の区別を明確にしてエッセイを書くことができる段階である。パラグラフ構成も安定し、複数のパラグラフ(序論・本論・結論)を用いて150語程度書くことができる。主語と動詞の関係や基本的な接続詞は使いこなすことができ、主張一理由—具体例などのパラグラフを意識した記述となっている。
高校3年または海外在住経験あり <small>(英語を日常で使用していた)</small>	7 日常生活での情報や説明を聞き取ることが問題なくできる。やや複雑な社会的な話題については予備資料があれば、類推したり情報を総合しながら理解できる段階である。ある程度日本語字幕が付いているテレビの英語ニュース等を80%程度以上ディクテーションすることができる。	社会性の高い分野について書かれたテキストについて、必要な情報を見つけるためにざっと目を通して情報を収集することができる。パッセージを2回程度読み返せばその構成を理解でき、それに基づき内容を理解できる。日本語の注釈がついた英字新聞(週刊ST, Asahi weekly等)で興味、関心のある話題に関する記事はほぼ正確に理解することができる。	比較的自然に会話をはじめ、終わらせることができる。学習した内容やその関連分野において自分の考えを根拠に基づいて明確に述べるができる。また相手の意見を正確に把握し、会話が円滑に進むように配慮しながら会話を続けようとする姿勢がうかがえる段階である。相手の発言に対して比較的安定して応答ができる。	社会的な問題について自分の意見や考えを即興でも順序立てて自分の考えを述べることができる。ストーリー性のある簡単なイラストや図を見て、十分な情報を時系列を追いながら論理的に説明することができる。	日常生活での話題について2～3パラグラフレベルの平易な英文ではあるが論理的に書くことができ、相手に理解してもらうことが可能である。global errorはほぼ見られない。各パラグラフの関係性を意識し始めている様子が見える段階である。やや複雑な時事問題等の記事を読んで、自分の考えを第三者に理解できるように表現することも可能である。
	8 余り親しみの無いテーマに関する話題でも、1回でほぼ正確に理解することができる。社会的な話題について自分の意見を持ちながら批判的に聞き、質問ができる段階である。英語圏の学校で講義を聞き、必要な情報を得ることができる。	社会性の高い分野について書かれたテキストについて、パッセージ構成をすぐに見抜き、抽象度が高い英文も主題文や指示文との関連から判断してその趣旨が理解できる。英字新聞(Japan Times等)で社会的な出来事に関する記事について明確に主張されている結論部分は正確に把握できている段階である。詳細についてはやや不安定な理解にとどまることもある。	ごく自然に会話をはじめ、終わらせることができる。様々な分野の話題について自分の考えを根拠に基づいて明確に述べることができる。また相手の意見を正確に把握し、会話がより進展するように工夫しながら会話を続けることができる段階であり、応答も素早く適切である。不自然な休止は起こらず会話の崩壊もみられない。	社会性の高い話題について現状分析に自分の考えを加えて伝えることができる段階である。発言内容に矛盾はなく一貫性がみられる。また、聞き手から質問に対してすぐに返答することもほぼ可能である。	自分の言葉を使いながら、扱った内容についてのエッセイや感想を比較的短時間で論理的に書くことができる。各パラグラフの役割や構成に習熟し、重文や複文も使いながら自分の考えや結論を相手に理解して貰えるように表現することが可能であり、記述内容に明確な根拠を示して書くことができる段階である。